

## 2 先進的な事例紹介

### 2.1 尼崎市「特定健診受診率向上の取り組み」(兵庫県尼崎市)

#### 〔概要〕

尼崎市は、国民健康保険において特定健康診査・特定保健指導の効果的・効率的な取組みが図れるよう「特定健康診査等基本指針」に基づき、同市の地域特性や健康実態を踏まえながら、生活習慣病有病者・予備群の25%減少をめざし、平成20年から5年間の第1期実施計画を策定し、特定健診・保健指導に取り組んできています。

第1期計画においては、脳卒中や心筋梗塞等を発症する恐れのある生活習慣病有病者・予備軍への早期介入を図るため、特定健診受診率の向上に取り組むとともに、内臓脂肪の有無にかかわらず緊急性・優先性を勘案した上で介入対象者を選定し、保健指導の徹底を図ってきました。これらの成果として、脳卒中や心筋梗塞による入院患者の減少、新規人工透析患者の減少などの結果が得られています。

尼崎市では、特定健診の受診こそが、次のステップである生活習慣病有病者や予備群の抽出・特定保健指導へ繋がる重要な第一歩であると認識し、いろいろな対策を講じて受診率向上にも積極的に取り組んでいます。そのためには、尼崎市からきめ細やかな住民の対象者への働きかけと共に、地域コミュニティとの協働、さらには、健康関連産業、生活習慣関連産業など企業との連携、ヘルスアップ尼崎戦略推進会議の設置など、さまざまな活動を行っています。

#### 〔コラム〕

##### (1) 特定健診受診率の課題

特定健診の受診率は、平成20年度は目標40%に対し42.3%(平成19年度24%)に上昇したものの、その後低下し、平成23年度は39.1%まで回復しましたが目標受診率には達しませんでした。

未受診者に対するアンケート調査などから、

- ① 通院しているため必要ない
- ② 健康だから(健康であると思っているから)
- ③ 受診したいのだが、忙しいので行けない

などが未受診の主な理由となっており、健診意義が十分に伝わっていない状況でした。

なお、平成20年度から23年度の4年間で1回でも健診を受診したことのある人は53.6%に上っています。健診受診率の上昇は、これまで健診を受けたことがなかった、いわゆる「初めて受診者」の増加を示しており、潜在的な重症者(表2)の掘り起こしにつながっています。これらを踏まえてさらなる受診率向上対策が必要です。

表1 第1期計画期間における健診受診率等

	20年度	21年度	22年度	23年度	
特定健診受診率	42.3%	35.6%	32.9	39.1	
うち、結果把握率	1.7%	0.9%	0.8%	1.5%	
再掲	男性	36.4%	31.1%	28.7%	34.3%
	女性	47.4%	39.5%	36.5%	43.2%
(参考)第1期計画における受診率目標	40%	50%	60%	60%	

(出典:尼崎市各年特定健康診査結果より)

## 2 先進的な事例紹介

表2 初めて受診者の状況

	20年度		21年度		22年度		23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
初めて受診者	34,529	100%	7,198	24.8%	4,532	17.4%	6,961	22.7%
うち重症者	6,487	18.8%	1,429	19.9%	885	19.5%	1,428	20.5%
(参考) 継続受診者の重症者			3,407	15.6%	3,386	15.7%	3,679	15.5%

(出典: 尼崎市各年特定健康診査結果より)

## (2) 健診、保健指導受診状況と総医療費

健診結果が改善し重症化が予防できれば、入院や高額な医療費を要する処置が減少し、結果として医療費適正化効果が生じると考えられます。第1期計画における対策の評価として、平成20年度から平成23年度までの4年間、国保被保険者であった40～74歳の健診、保健指導の受診状況ごとの費用額を調べたところ、患者1人あたりの費用額は、4年間連続健診・保健指導受診者で最も安く、健診未受診者との差額は4年間で約99万円、年間では約25万円でした。

このようなことから、まずは健診未受診者を減らすための受診率向上対策が重要です。

表3 健診、保健指導の受診の有無と4年間の費用額(平成20～23年度特定健診対象者レセプト)

	患者1人あたりの費用額	} 988,938円の差
未受診(※1)	4,012,429円	
健診中断(※2)	4,346,001円	
連続健診受診	3,692,073円	
連続健診・保健指導受診	3,023,491円	

※1 平成20～23年度まで1回も健診を受けたことがない者

※2 平成20～23年度まで1回は健診を受けたことがあるがその後中断した者

(出典: 尼崎市国民健康保険特定健康診査等第2期実施計画より)

## (3) 受診率向上対策(未受診者および継続受診率の向上対策)

## ア きめ細やかな受診率向上対策

未受診者の構成比では60歳以上が半数以上を占めますが、年代ごとにみると健診未受診で未治療の60歳代は23%にとどまり、40、50歳代では約4割を占めます。年代ごとに自らにとっての健診の位置づけや期待、健診イメージが異なると考えられることから、パンフレット全戸配布やコミュニティ掲示板へのポスター掲示、町内回覧など、市内一円に一律に講じるPRに加え、ライフスタイルに合わせて、Webサイトや携帯サイトへの情報発信、さらには個人へのダイレクトメールや電話による案内など、さまざまなアプローチなどを組み合わせた複合的、相乗的アプローチを重視します。

また、過去の健診受診履歴や受診時期、受診場所など、対象者に合わせて必要な情報を発信するなど、きめ細やかな受診率向上対策をさらに進めていきます。

女性が受診しやすい環境づくりとして、受診者も健診スタッフも女性で実施する「レディス健診」を実施します。

## イ 地域コミュニティと協働で実施するもの

第1期計画期間では、社会福祉連絡協議会、単位福祉協会独自に出前健診を活用して地域での健診、保健指導の場づくりが進められ、「地域住民と一緒に顔を合わせる機会にもなる」との声も聞かれるとともに、地域ごとの健診受診率アップにつながる事例が多数見られました。このような活動を協働で推進していきます。

特定健診の意義や治療中であってもなぜ健診対象者になるのか等、地域での学習機会づくりを地域コミュニティと協働で行います。

ウ 庁内連携、企業や団体と協働で実施するもの

サポーター企業をはじめ、健康関連産業、生活習慣関連産業など企業との連携による情報発信に努めます。

また、「ヘルスアップ尼崎戦略推進会議」を通じて、さまざまなライフステージの市民を対象に、健診結果をもとに生活習慣を選択するという考え方が定着するよう、関係部署と協働で学習機会の提供を図ります。

(4) 事例紹介「コンビニでも健診」

尼崎市ではこれまでから、「脱メタボ!!頑張る市民を応援するサポーター企業事業」という取組みをおこなってきており、市民の生活習慣改善の取組みを応援するため、尼崎市内で販売されている商品やサービスも健康づくりの資源と考え、活かしていけるよう民間企業や団体と協働で、「健康な環境づくり」を目指しています。2013年(平成25年)9月現在のサポーター企業は22団体です。

日本初! **コンビニでも健診。**

けんしん  
ニ崎市 × LAWSON  
未来のカラダいまカラダ マチの健康ステーション

ニ崎市では、「予防できる病気で倒れる市民を減らしたい」との思いから、生活習慣病、特に心筋梗塞や脳卒中などの予防の取組として、2005年から「ヘルスアップ尼崎戦略事業」を展開しています。

また、(株)ローソンでは、「マチの健康ステーションとして」マチが健康になること、そのマチで暮らすみんなが、日々豊かな生活を送ることに貢献することを目指して、各種健康支援事業を展開しています。

今回、目指す方向が同じ尼崎市と(株)ローソンが、地域協働事業のモデルとして、身近なコンビニエンスストアで、出前型の健診を実施することにしました。生活習慣病は自覚症状がありません。だから、「健康への第一歩は健診から」です。今回の取組は、「日本初」となります。ぜひ、この機会に健診を受診ください。

今、ローソンで健診を予約して受診すると  
45×10枚入り「**尼崎市指定ゴミ袋**」プレゼント

※写真はイメージです。この健診に関するチラシ(健診予約申込書)は、市内ローソン全店舗で配布されています。受診の予約は、下記の店舗で受け付けています。>店舗を確認する

(出典: <http://amakensin.jp/lp/lawson.html>より)

年に一度は必ず健診を!

お気軽にお申し込みください! あなたの保険の種類は?

ニ崎市民の方

- 私の年齢は **16~39歳**
  - A 尼崎市民全員 **1,000円** (22才以下の方は無料)
  - B 尼崎市民健康保険加入 **無料**
  - C 全国健康保険協会加入
    - 被扶養者の方は **無料**
    - ※被保険者の方は 5,600円
- 私の年齢は **40~74歳**
  - D 後期高齢者医療保険加入 **無料**
  - E 生活保護受給者の方 **無料**
  - F その他保険加入
    - 受診券あり 加入している保険によって異なります
    - 受診券なし 5,600円
- 私の年齢は **75歳以上**
- 市外在住の方 **5,600円**

※上記、健診費用が必要な方は、受診当日にローソン特設健診会場でお支払いください。

健診の内容 (共通のもの)
 

- 質問票・身体計測 (身長、体重、BMI、腹囲測定)
- 血液検査 ● 血圧測定 ● 尿検査 ● 医師診察

 ※今年4月以降に健診を受診された方は受診できません。

一方健診体制においては、市の公共施設での集団健診や各医療機関での個別健診のほか、地域の自治会等の要請に基づき地域に出向いて実施する出前健診を行ってきています。こうした既存の制度を活用しながら、今回、日本初の試みとして、目指す方向が同じである尼崎市と株式会社ローソンが連携し、地域協働事業のモデル事業として、身近なコンビニエンスストアにおいて、出前型健診を実施しました。

コンビニ出前健診は、2013年の10月から12月の期間に、尼崎市内の6箇所のローソンの駐車場で、土日の2日間(合計12回)実施しました。

健診予約のチラシは市内のローソン47店舗で配布しました。健診を実施する6店舗では、「健診予約

## 2 先進的な事例紹介

箱]を設置し、ローソンで健診予約したときに、尿検査の容器を渡します。受診奨励の一環として、事前に予約箱に投函いただき、受診すると、もれなく予約特典として「尼崎指定ゴミ袋 45リットル用10枚」をプレゼントしました。

ただし、予約のない場合でも、健診受付時間内であれば受診できます。また、大腸がん検診、肝炎ウイルス検査も同時実施できます。希望される場合は、既存の特定健診集団健診会場で実施の条件と同様です。自己負担額も同様です。ただし、がん検診に関しては、尼崎市民に限りしました。

## (5) まとめ

尼崎市では、市民の健康寿命の延伸をめざし、“予防できる病気で倒れる市民を減らしたい”との思いから、生活習慣病の発症予防と心筋梗塞や脳卒中などの重症化予防の取組みとして、平成17年度(2005年)から「ヘルスアップ尼崎戦略事業」を展開しています。

また、株式会社ローソンでは、『マチの健康ステーションとして』、「マチが健康になること、そのマチで暮らすみんなが、日々豊かな生活を送ることに貢献すること」をめざして、各種健康支援事業を展開されています。今回、目指す方向が同じである尼崎市と株式会社ローソンが「尼崎市民の健康づくりに関する協定」を締結し、地域協働事業のモデル事業として、身近なコンビニエンスストアにおいて、出前型健診を実施することとなりました。日本初の試みとして、地域生活に密着した社会基盤と連携し、地域を元気にする取組みです。

生活習慣病は自覚症状がありません。ですから、「健康への第一歩は健診から」です。日ごろ健診を受けていない方、今年はずっかり受け忘れた方などに受診機会を増やしました。

尼崎市では、以上のように、いろいろな方々や組織の協力を得て、あるいは連携して、健診受診率の向上に取り組んでいます。

## (問い合わせ先)

尼崎市市民協働局 ヘルスアップ戦略担当

TEL:06-6489-6621

e-mail: ama-kyoudou@city.amagasaki.hyogo.jp

URL: <http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/siyakusyo/section/kyoudou/index.html>